

事業所防災リーダー通信2023 Vol.31

事業所防災リーダーに向けて、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。



通勤でできる防災対策

災害は通勤中でも容赦なく襲ってきます。

通勤経路における避難ルートの確認や、危険となる可能性が高い場所のチェックに加え、普段から身につける衣服類に安全性が高いものを選んでおくと、いざという時に安心です。

身につけるものを選びたい素材

被災時の長時間移動や崩れた足場、避難場所での長期滞在を考えると、動きやすく丈夫な素材で作られた服装が望ましいでしょう。また、季節に応じて暑さや寒さの対策も必要です。

すべてが対策された衣類を毎日身につけるのは難しいと思いますので、かさばらないものを持ち歩いたり、ワンアイテムだけでも身につけられるように意識してみてもいいでしょうか。

おすすめの素材例

- 吸水速乾素材の衣服
- 軽量で高強度素材の衣服
- 運動機能性の高い衣服

普段の衣服にさりげない安全性を

✓ 大判ストール

災害避難時に複数の用途で活躍するアイテムです。マスクや包帯、日よけ、ブランケットなど、様々なものの代用品として使えます。



✓ フラットシューズ・スニーカー

悪路の移動や長時間の移動を想定すると、歩きやすい靴が一番です。折りたためる軽量の靴を携帯したり、職場においておくのもおすすめです。



✓ リュックサック／ショルダーバッグ

両手がふさがらず、自由に使えるショルダー式のバッグを持っていれば、身を守るためのとっさの行動にも対応することができます。



✓ 薄手のスパッツ

スカートであっても「スパッツ」をはくことで避難先の床に座りやすくなります。

イラスト出典：東京都防災ホームページ『東京暮らし防災』p22（リニューアル前）

東京都からのお知らせ

東京都では企業防災を主なテーマに、オンラインセミナーの開催や防災専門アドバイザーの個別派遣を通じて、民間事業者の皆様や帰宅困難者対策協議会等における防災の取組を支援しています。事業所内で防災研修をやりたい、防災マニュアルの作成や見直しをしたい、など様々なご相談にアドバイザーを活用できます。初歩的なご相談も大歓迎です！まずはお気軽にご応募ください。詳細は以下のリンクをご覧ください。https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/kitaku_portal/1000048/1028256/index.html

